

川島町総合振興計画審議会
答 申 書

令和5年12月20日

I はじめに

令和5年11月27日に、川島町長から、「令和3年度に、第6次川島町総合振興計画及び第2期川島町まち・ひと・しごと創生総合戦略について策定したが、策定するだけでなく進行管理が大事である」との認識のもと、「川島町総合振興計画及び川島町まち・ひと・しごと創生総合戦略の進行管理について」の諮問を受け、本審議会では11月27日（月）、第6次川島町総合振興計画実施計画代表事業を確認しながら、総合振興計画の進捗状況について議論をした。

とりまとめにあたっては、審議会が出た意見を中心に施策ごとに整理した。

以下、諮問事項『川島町総合振興計画及び川島町まち・ひと・しごと創生総合戦略の進行管理について』に対する審議結果を答申する。

II 答申事項について

1 川島町総合振興計画及び川島町まち・ひと・しごと創生総合戦略の進行管理や評価に対する意見について

川島町総合振興計画及び川島町まち・ひと・しごと創生総合戦略の進行管理及び評価について適切に実施されていると認められる。

また、本計画の前期5年間の施策展開をまとめた4つの戦略目標の実現にあたり、町民や事業者の立場から特に銘肝されたい視点について、以下のとおり提言する。

1) 施策全体について

- ・評価の仕方について一定の評価方法を確立し、確実な事業展開をすることで、事業を進行すること。
- ・目標に達しなかった事業について、理由を明確化し、改善策を検討の上、PDCA サイクルを徹底すること。
- ・町の重点施策として事業を追加する場合は、事業目的、事業概要、進行管理、事業評価を検討の上、事業を進行すること。
- ・全施策について、町の総合目標、戦略目標の実現にあたり、事業の進捗を適宜確認しながら、まい進していくこと。

2) 「戦略目標1 まもる」について

①重要施策1 「災害に備える環境整備」

- ・災害対策として、事業所等と防災協定を締結していることから、記載事業以外の防災対策事業について、事業概要に記載することを検討されたい。
- ・町の防災対策について、住民周知を徹底していただきたい。

②主な施策1 3 「安心して暮らすための河川の整備」

- ・河川、水路の排水機能の確保のため、関係機関と調整の上、浚渫事業を検討されたい。

③主な施策1 4 「住みよいまちづくり」

- ・空き家対策推進事業については、町の重点事業として、事業内容をよく検討の上、実施されたい。

④主な施策1 6 「安全に通行できる道路の整備」

- ・道路整備について、住民要望に基づき、優先順位及び施工方法をよく検討の上、安全に通行できる道路整備を推進されたい。

⑤主な施策1 7 「持続可能な公共交通網の形成」

- ・公共交通施策について、かわみんタクシーだけでなく、他の交通手段による施策についても検討されたい。
- ・公共交通施策は、「住みよさ町民満足度」と大いに関連しているため、地域公共交通会議の中で、町全体の課題として、よりよい地域公共交通を実現できるよう検討されたい。

3) 「戦略目標2 つなぐ」について

①重要施策2 「新しい自治体コミュニケーションの推進」

- ・未来塾の募集方法について、応募者数が増加するよう検討されたい。

②主な施策1 「多文化共生社会の推進」

- ・外国人と小・中学生が相互に交流できる事業を検討されたい。

③主な施策5 「新しいつながりの創出」

- ・評価指標について、進捗状況を確認する上で、現状ある評価指標に加え「寄附金額」の指標を設けることを検討されたい。
- ・ふるさと納税の返礼品について、返礼品の充実のため、新たな特産品の開発について、事業者と連携し強化を図られたい。

④主な施策6 「文化財の保護・活用及び伝統文化の継承」

- ・評価指標の目標、実績及び評価に整合性がないため、表記の改めを検討されたい。

4) 「戦略目標3 つくる」について

①重要施策1 「川島インターチェンジ周辺整備の推進」

- ・事業を進行していく中で、川島町の交流人口や関係人口を増加できるよう検討されたい。

5) 「戦略目標4 そだてる」について

①重要施策1 「夢を育む新たな学校づくり」

- ・評価指標の目標、実績及び評価に整合性がないため、表記の改めを検討されたい。

②主な施策1 「新たな生涯学習の推進体制構築」

- ・総合型地域スポーツクラブについて、最終的にはクラブの自立化を目指した町の支援を検討されたい。

③主な施策2 「生きる力を育む学校教育の推進」

- ・評価指標の達成及び英検受験者数向上のため、私塾と連携し実施している英検対策事業について、実施回数の見直しを含め、改善を検討されたい。

Ⅲ 今後の持続可能なまちづくりに向けて

第6次川島町総合振興計画は、2030年までのまちづくりを示すとともに、20年、30年先の未来まで本町が発展を続けるための道標としても重要な意味合いを持つ。社会情勢の激しい変化と共に、本町を巡る状況も日に日に変遷していることを踏まえると、社会環境に対応する意識を強く持ってまちづくりと向き合う必要がある。

このことから、前例にとらわれず、常に改革志向を持ちながら本計画を推進し、新たな取組に積極的に挑戦していくことを求める。

我々委員も、単に行政サービスの受け手としてだけでなく、まちづくりの担い手として、本町が将来にわたって活気と活力に満ち溢れたまちとなるよう地域経営に積極的に参画する所存である。

以上、第6次川島町総合振興計画を実効性のあるものとするため、町民、事業者、町が協働でまちづくりに取り組むことを提言し、川島町総合振興計画審議会からの答申とする。

以上